

# 石岡地域医療計画を策定 優先的に取り組む対策は 「病院の再編統合」と「公立化」

▶昨年度の石岡地域市民医療懇談会で洗い出された地域医療の課題。

分娩できる医療機関がない、平日夜間に小児科の緊急診療が受けられる病院がない、医師の高齢化による医師不足から緊急診療の受け入れが困難な状況になっている…

このような課題を一刻も早く解決するため、今年度専門家や有識者を交えて話し合いが行われてきました。

そして1月22日に行われた「第3回地域医療対策カンファレンス」で、病院の再編統合と公立化を含む石岡地域医療計画を策定しました。

## どうして再編統合と公立化が必要？

▶多くの病院が医師や看護師の確保に苦慮している状況の中で、地域医療を守るため、医師や看護師などの医療従事者や医療機器の集約が必要だからです。

また、公立病院化することで病院の再編統合と病床の再配分が可能になり、回復期病床の増床や救急体制が強化され、地域全体の医療資源の有効活用を図ることができます。

## どんな効果があるの？

▶公立病院を設置し、臨床研修制度により若手の医師を呼ぶことで、休日夜間緊急診療の継続が可能となり、強い要望がある産科を設けることや将来にわたり持続可能な石岡地域の医療体制が確保されることが期待できます。

また病床を再配分することで、医療提供体制が強化されたり、病院間の役割分担がより明確化することで専

門とする疾患の治療に専念する体制作りが可能となります。



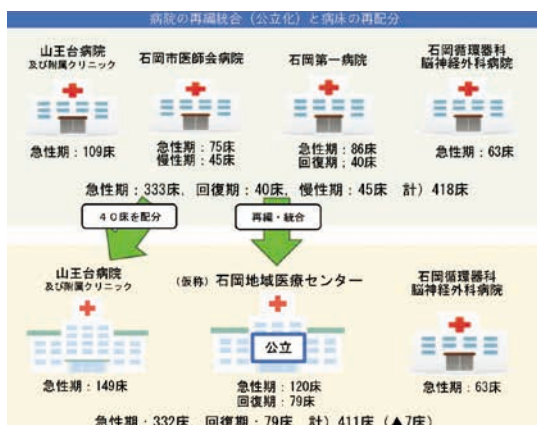
▲第3回カンファレンスの様子  
(写真左上から時計周り) 今泉石岡市長・坪井かすみ  
がうら市長・柏木石岡市医師会長・島田小美玉市長

みんなが安心して医療を受けられる体制づくりは、これから始まります。

進捗状況等は広報紙や市ホームページで随時お知らせします。



◀これまでの経緯や詳しい計画内容等についてはこちらから確認できます。



▲病院の再編統合と病床の再配分のイメージ図

問地域医療対策室

TEL 23-1111 (内線 7179)